

☆やりたいことやっちゃおう DAY ☆

こどもたち一人ひとりが好きな場所で、好きなあそびを見つけ
て遊びます。その際、主体的にこどもが遊べるように安全な環境
やあそびのヒントを提供しています。こどもたち自身で「もっと
こうしたいな」と考えたり、異年齢児同士であそび方を伝えたり
しながらあそびたいものに集まり友だちと関わり合っていて遊んで
います。

これからもクラスを超えて遊ぶ中で、こどもも大人も新たな発
見ができるといいなと思います。



こうしたらできるよ
(4歳児と5歳児)

泥団子は、どうやって
作るのかな？

7月の予定

- 3日(金) 誕生会
- 6日(月)～8月31日(月) 夏期保育
- 7日(火) 七夕会
- 14日(火) 避難訓練

夏期保育中に、職員の研修及び、週40時間労働の
調整のため職員が交代で休暇をいただきます。
ご都合のつかれる方は、家庭保育のご協力をお願い
します。



- ☆8月の予定☆
- 21日(金) 避難訓練
 - 28日(金) 誕生会

親子で作ろう♡美味しいおやつ

『オレンジゼリー』

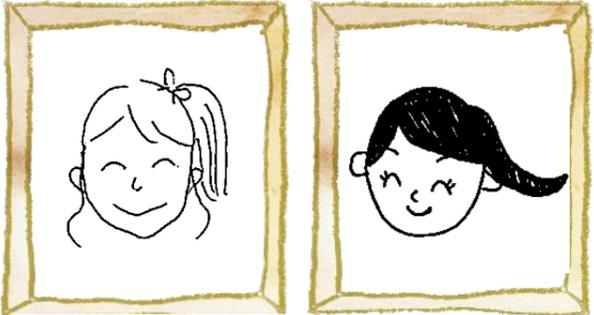


- <材料>8人分位
- オレンジジュース 500cc
 - 水 250cc
 - 三温糖 35g
 - イナアガー 25g
 - みかん缶 適量

- <作り方>
- 鍋に三温糖とイナアガーを入れてよく混ぜ合わせる。
 - ①にジュースと水を入れてよく混ぜ、火にかける。
 - 型の中にみかんを入れておく。
 - ②がふつふつとしてきたら、火をとめて型に流し、冷蔵庫で冷やし固めて完成。

あすなろ美術館

～ゆき組(きんぎょグループ)編



やまさき かりえ
山崎 友里恵さん
(藤原 純子 作)

みじわり じゅんこ
藤原 純子さん
(山崎 友里恵 作)

キャッチコピー
若さパワーで製作もお
どいも何でも頑張ってい
ます！

キャッチコピー
ゆき組のピアニスト♪
ピアノならお任せあれ！
楽譜なしでも弾けますよ。



<https://asunaro.okayamakodomokyoukai.jp> 検索

令和2年7月1日発行
社会福祉法人岡山こども協会 あすなろ保育園
〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19
TEL (086) 955-5665

HPがリニューアルしています★
また、QRコードができました。ご利用ください



「ことばの持つ力」

先日『92歳の現役保育士が伝えたい親子で幸せになる子育て』という本を読みました。著者の大川繁子さんの園では“アドラー心理学(大人もこどもも「対等」の立場で考えること)”を大切にしています。「～してね」は命令的な言葉になり「すごいね」は評価する言葉になっているということでした。自分の保育を振り返ってみると、何気なく言ってしまうことに気づきました。

ある日の給食中、箸が止まっていたAさんが「野菜嫌いなんよな」と言いました。いつもなら「食べられたらカッコいいね」と言うところを、少し考えて「Aさんが野菜食べたら、野菜がAさんの力になるし、作った給食先生も喜ぶね」と話をしました。すると躊躇する余地もなく大きな口を開けて野菜を食べたのです。「すごいね」と褒めたい気持ちをぐっとこらえ「野菜食べられたね、私も嬉しい」と伝えました。

意識して言葉をかけようとする「すごいね」を違う言葉で具体的に表現するのは難しいと感じました。本を読んでからは、自分の気持ちを軸にして伝えるようにしています。「すごいと言ってもらいたい」と褒められることを目的に動くのではなく、“こんなことができるようになって嬉しいな”“わたし、ぼくってこんなことが得意なんだ”と自分のことを知ったり、自己肯定感を感じたりしてほしいです。そんな経験が「今度はこんなことしてみよう」「もっと深めたい」と主体的に動く力に繋がればと願います。

『スゴイ人より、めいっぱい自分の花を咲かせられる人』本の中にあつた私の心に響いた言葉です。スゴイ人を目指すのではなく、自分の好きなことや得意なことを知り、追求し、自分を誇りに思ったり大切にしたりできる人になって欲しいと感じました。

ほし組担任 森 有梨花

つばやき

2歳児 にじ組 きのこグループ

先日にじ組で植えたきゅうりに
きれいな花が咲きました。
Bさん「これきゅうり？」
保「キュウリになる前の姿だよ」
こどもたち「大きくなるおまじないをかけよう！
アンドラ～インドラ～ウンドラ～」
と、素敵な魔法(絵本に出てくる呪文の言葉)を
かけたこどもたちです。



テーマ：保育園の大発見

そらぐみ・みかん(5歳児)

「泥団子作り」

そらぐみ・いちご(5歳児)

「テントの脚が！」

ほしぐみ(4歳児)

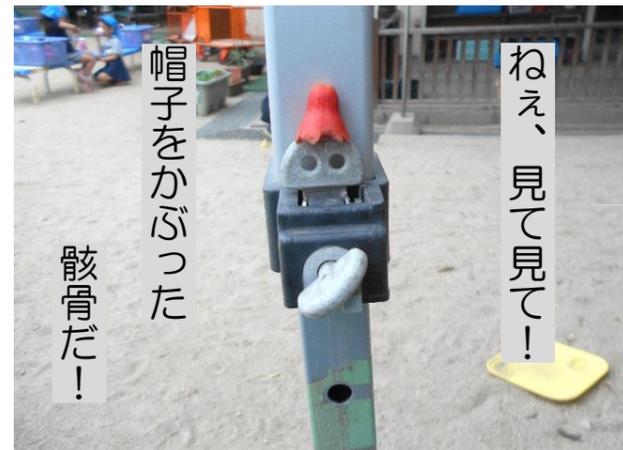
「あすなる園庭の木」

つきぐみ・れんげ(3歳児)

「休憩場所(滑り台下の隙間)」



上手くさ
あっちの土より
ここの土



ねえ、見て見て！
帽子をかぶった
骸骨だ！



登れたり
休んだりできる
人気者



すっぽりと
身体を入れて
ひと休み

つきぐみ・たんぼぼ(3歳児)

「上を見れば…(梅の木)」

にじぐみ・きのこ(2歳児)

「こんなところに」

にじぐみ・どんぐい(2歳児)

「工事の音」



あら不思議
こんなところに
梅干しが



ふしぎだな
ザクロの花の
絨毯だ



何の音？
窓の外から
ウィーン、ガガガ

ゆきぐみ・きんぎょ(1歳児)

「見つけた」

ゆきぐみ・めだか(1歳児)

「良い匂いに誘われて(給食室)」

はなぐみ(0歳児)

「扉の向こうはどんな所？(法人本部の部屋)」



驚いた
僕がいる
こんなところに



みーつけた
みんなのごはん
ここにいる



こあいさつ
はじめましての
ここのまじゅ？

みんなで考えよう ～こどもの人権～

第6条 生きる権利・育つ権利
第12条 意見表明権



こどもの人権ってなんだろう？とゆっくり考えることはありますか？こどもの権利を保障し、子どもたちがのびのびと過ごせる日々にしていきたいですね。このコーナーを通して、私たち大人が、自分たちの保育や子育てを見直すきっかけになればと思います。

園でも我が家でもこどもの泣き声で振り返って見ると、ものの取り合いになっていることがよくあります。そういう時にとっさに泣いている子が「取られた」と思いがちです。「とったー」と泣いていると余計そう思うことはないですか。「いつもあの子が」「お兄ちゃんだから」などの大人の思い込みをなくし、大人が見ていなかった数分前には何があったのだろう…と考え、しっかりこどもの声や表情に耳・目を傾けなければいけないと感じています。

高橋 麻衣